

2020.02.21

当事者本人、家族が求める居場所と  
その効果について  
(2020.02.10現在の速報値)

境 泉 洋

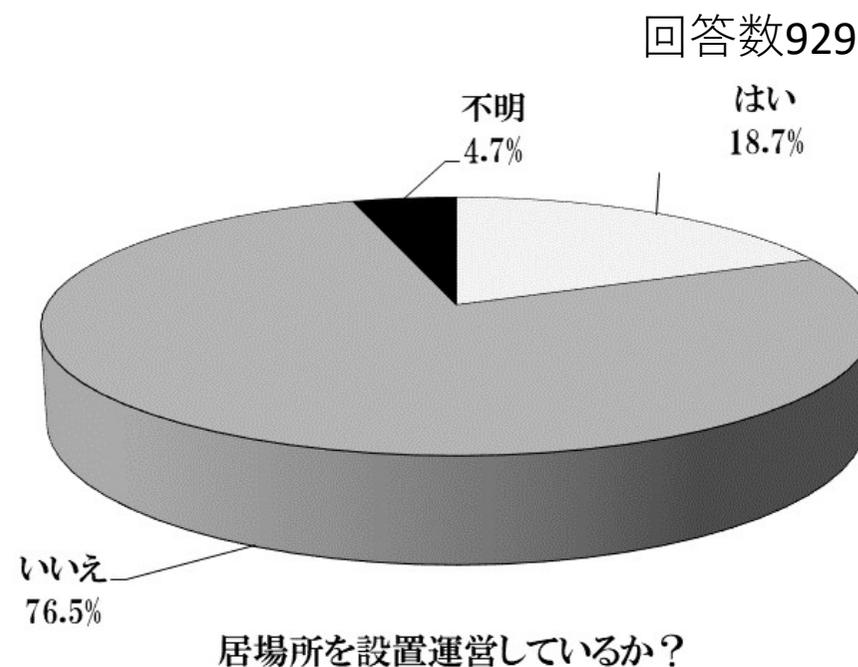
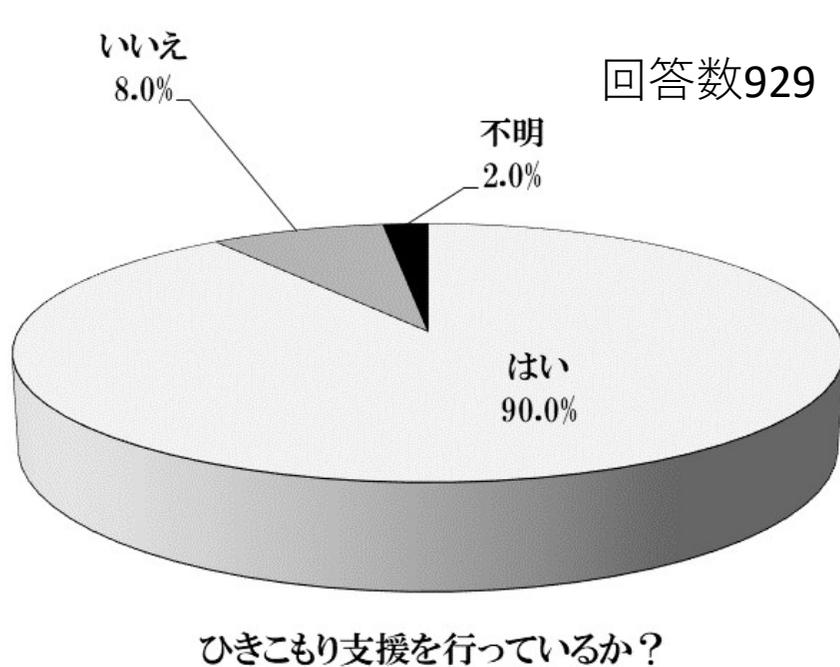
宮崎大学教育学部

# 調査 1

## 居場所設置状況調査

ひきこもり地域支援センター75カ所、並びに生活困窮者自立相談支援窓口1318カ所を対象に令和元年12月に実施し、回答数929カ所（回収率66.7%）から回答が得られた。

# 居場所設置状況調査

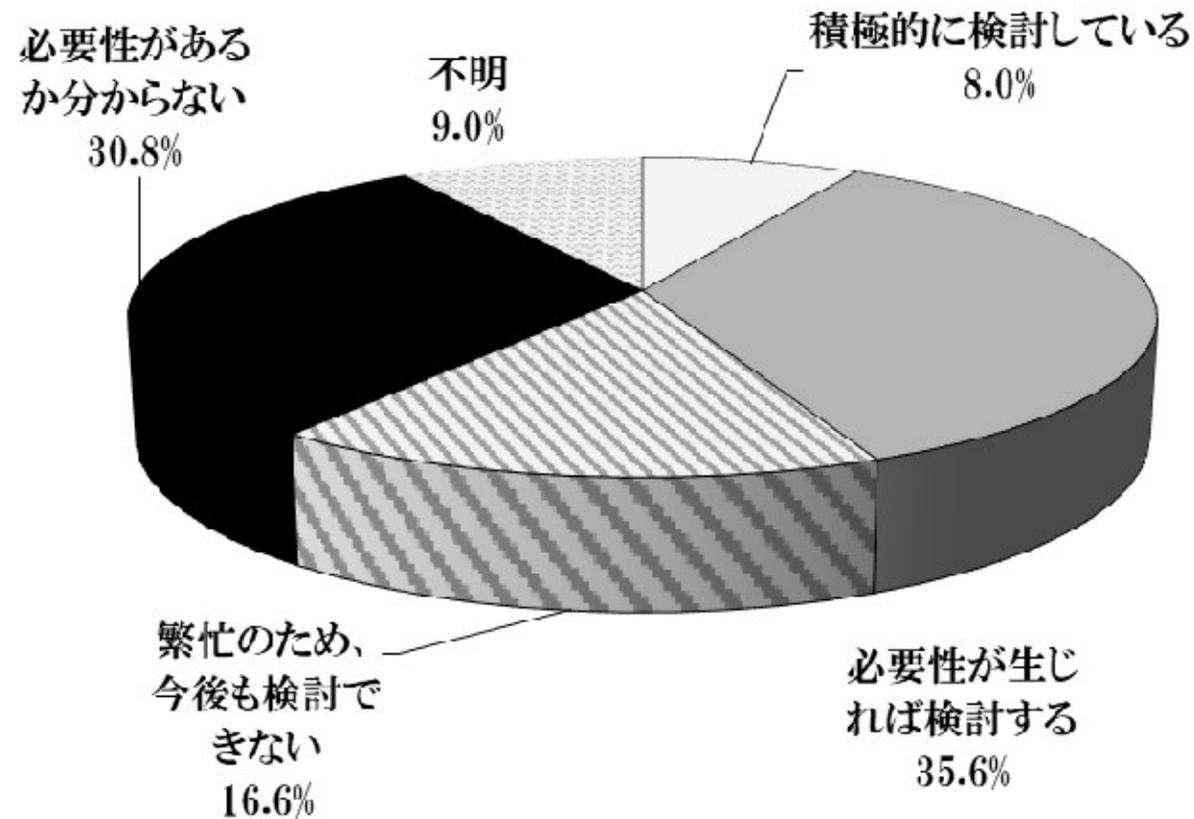


# 居場所設置状況調査

- 居場所の運営方法（回答数**174**）
  - 職員・スタッフが運営：**87**カ所
  - 自機関の名称を使い運営は外部委託：**30**カ所
  - 自機関の会場を提供し運営は外部委託：**14**カ所
- 委託している場合の理由（回答数**44**）
  - ひきこもり支援に対する実績がある：**31**カ所
  - 設置・運営したい旨の依頼があった：**8**カ所
  - 繁忙のため設置・運営ができない：**8**カ所
  - その他：**24**カ所

# 居場所設置状況調査

回答数711



居場所を設置する予定があるか？

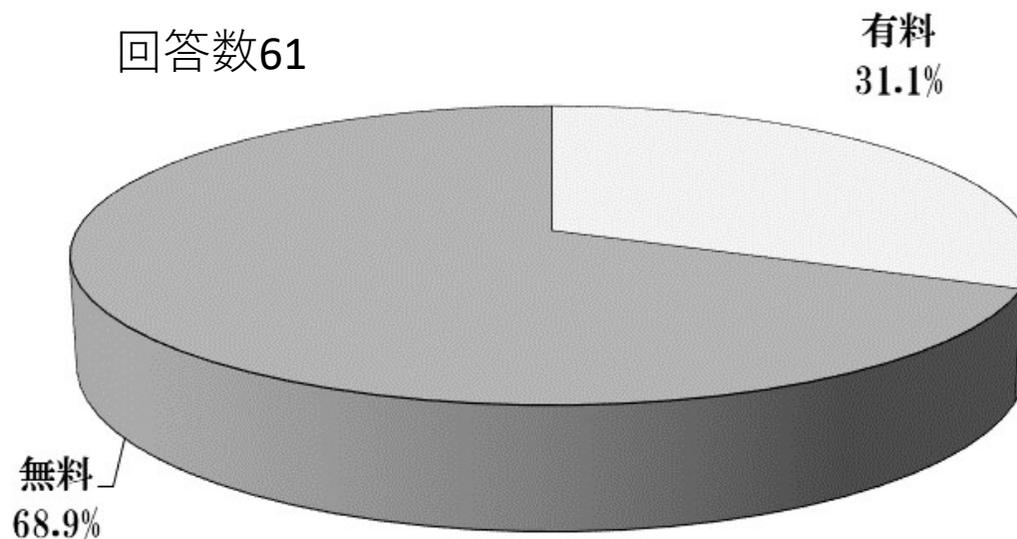
# 調査 2

## 居場所運営者調査

ひきこもり地域支援センターに設置されている居場所45カ所、調査事業委員の推薦、及びウェブ調査による242カ所を対象に、令和元年12月に調査を実施し、61カ所（回収率21.3%）から回答が得られた。

# 居場所の運営者調査

- 運営開始 平均2010年（最長1987年、最短2019年）
- 利用料金
  - 有料：19カ所（月額平均29,732円、1回平均607円）
  - 無料：42カ所



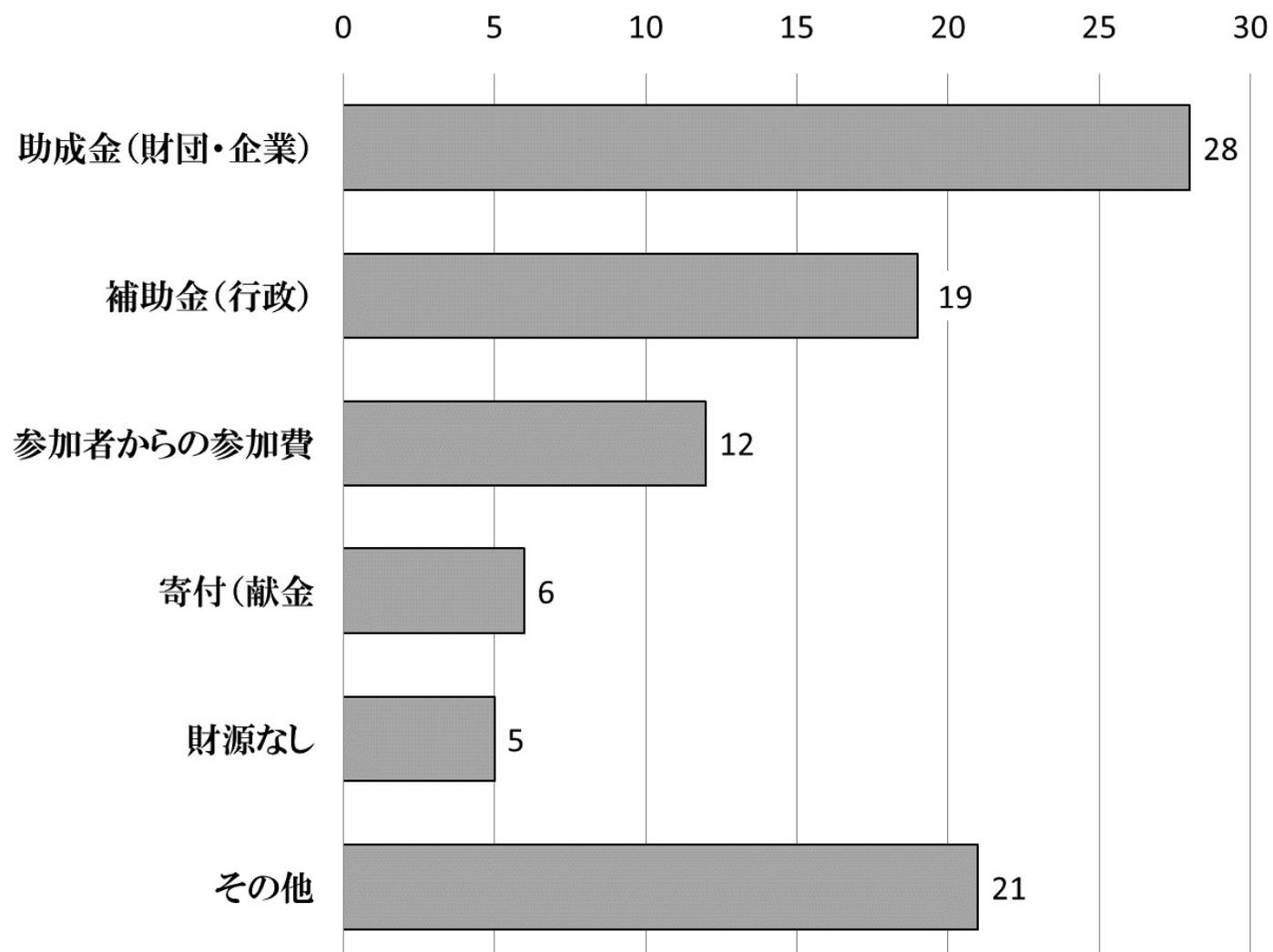
居場所の利用料金の有無

# 居場所の運営者調査

- 団体施設状況
  - 単独常設：21（+ 1）カ所
  - 賃貸常設：16カ所
  - 合同常設：8カ所
  - 非常設賃貸：7（+ 1）カ所
  - その他：6カ所 不明：3カ所
- 参加人数：6.7人（最小1名、さいだい2名）
- 参加者の性別：男68%、女31%、その他5%
- スタッフ：有償平均3.3人（最小0人、最大31人）  
無償平均1.8人（最小0人、最大15人）

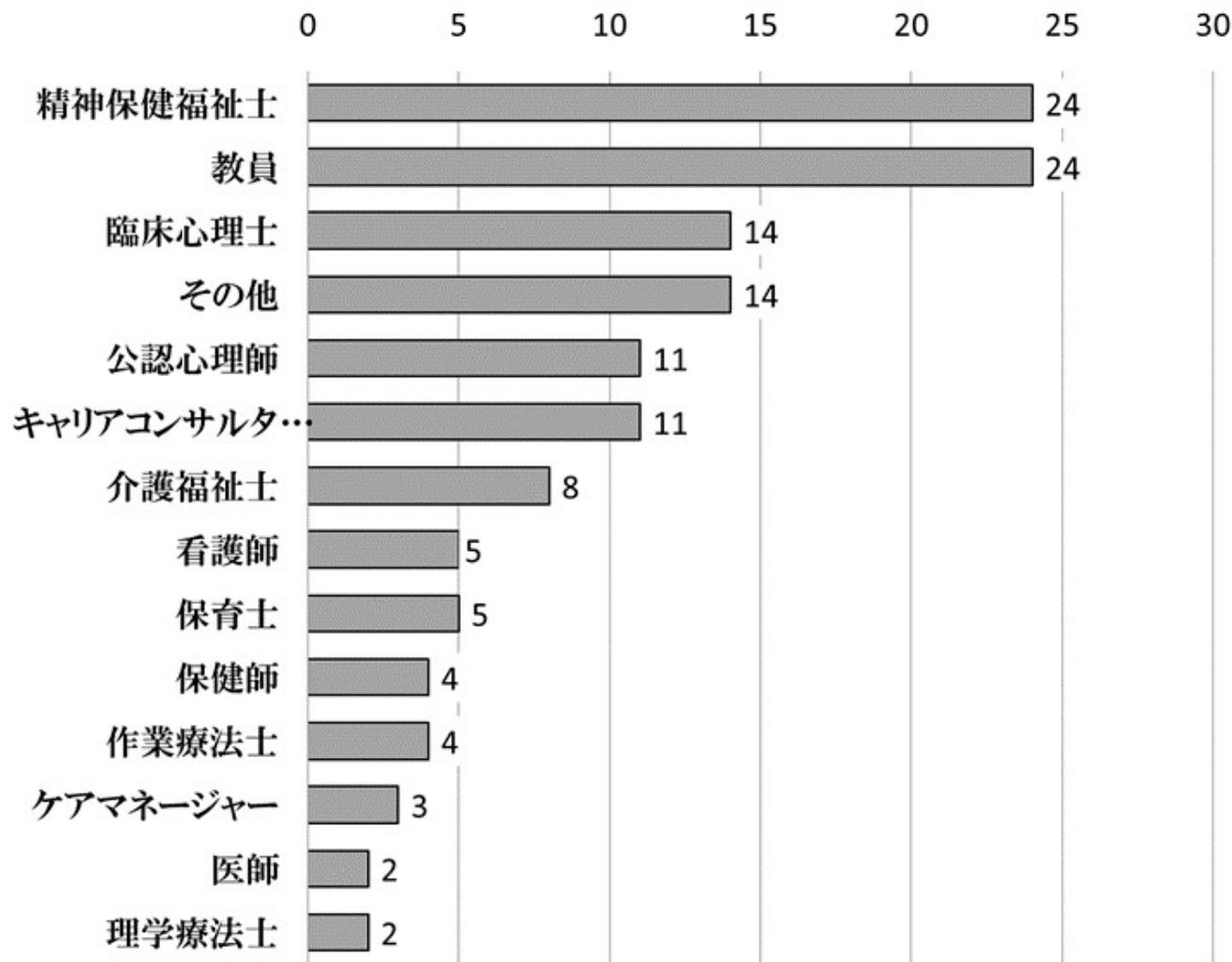
# 居場所運営の財源

回答数61 (複数回答)



# 居場所スタッフの資格

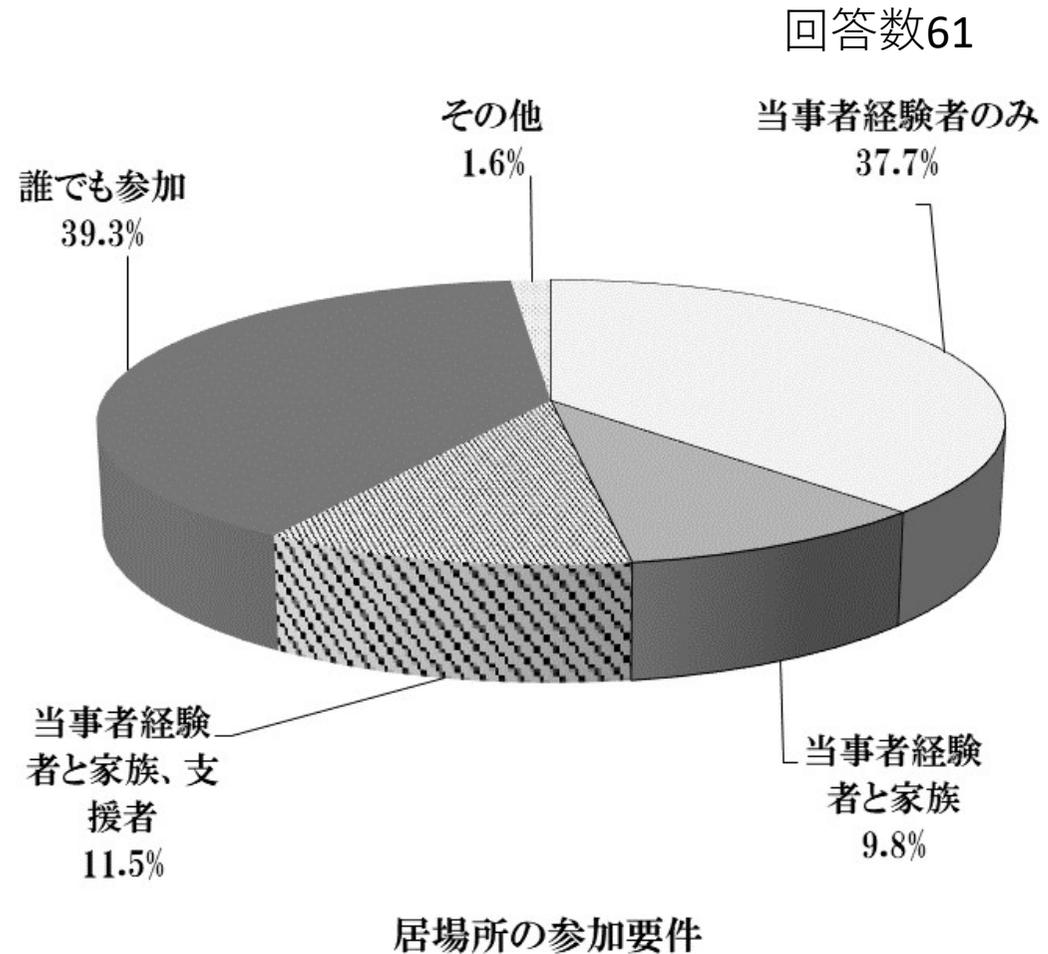
回答数61  
(複数回答)



# 居場所運営者調査

## • 主な事業

居場所支援事業  
55カ所、相談支  
援事業51カ所、  
家族支援38カ所、  
地域とのネット  
ワーク事業34カ  
所

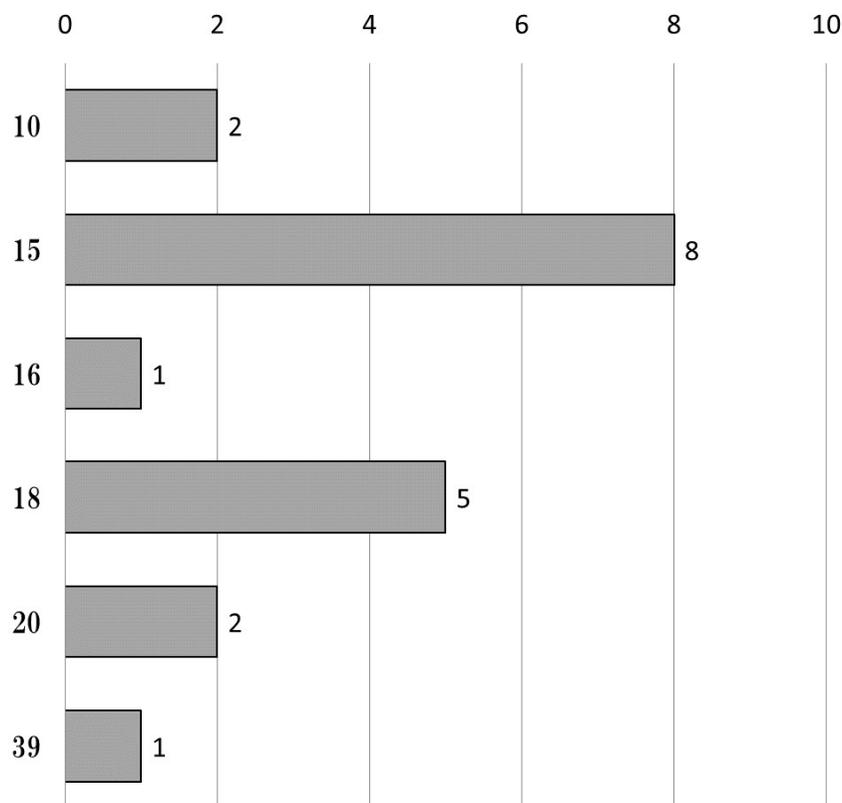


# 居場所参加の年齢制限

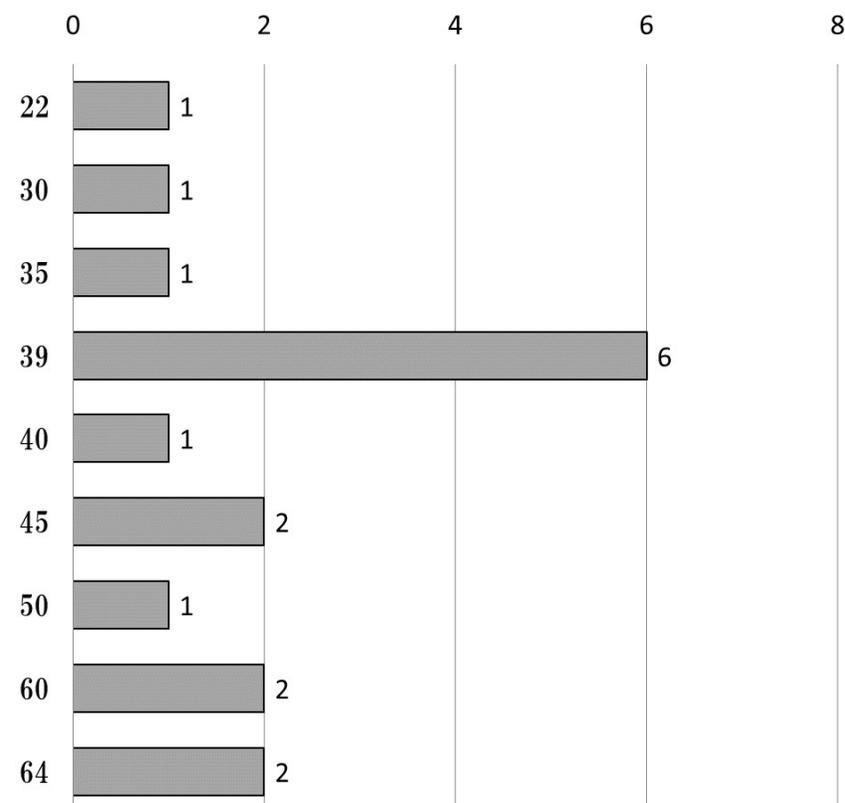
年齢制限 なし：43カ所 あり：19カ所

回答数19

回答数18



年齢制限(下限)



年齢制限(上限)

# 居場所運営者調査

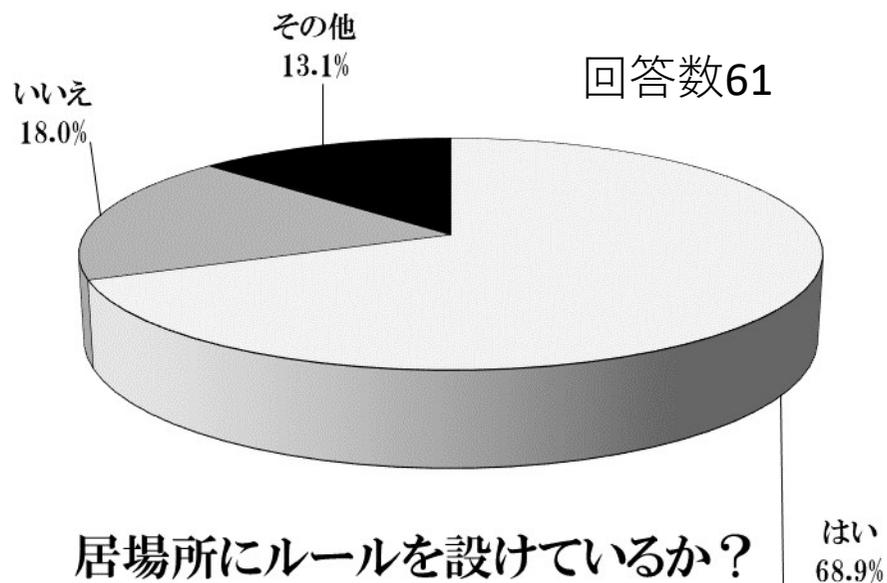
- 女性支援

性別にとらわれず行っている：38カ所

女性の支援者を配置して対応：19カ所

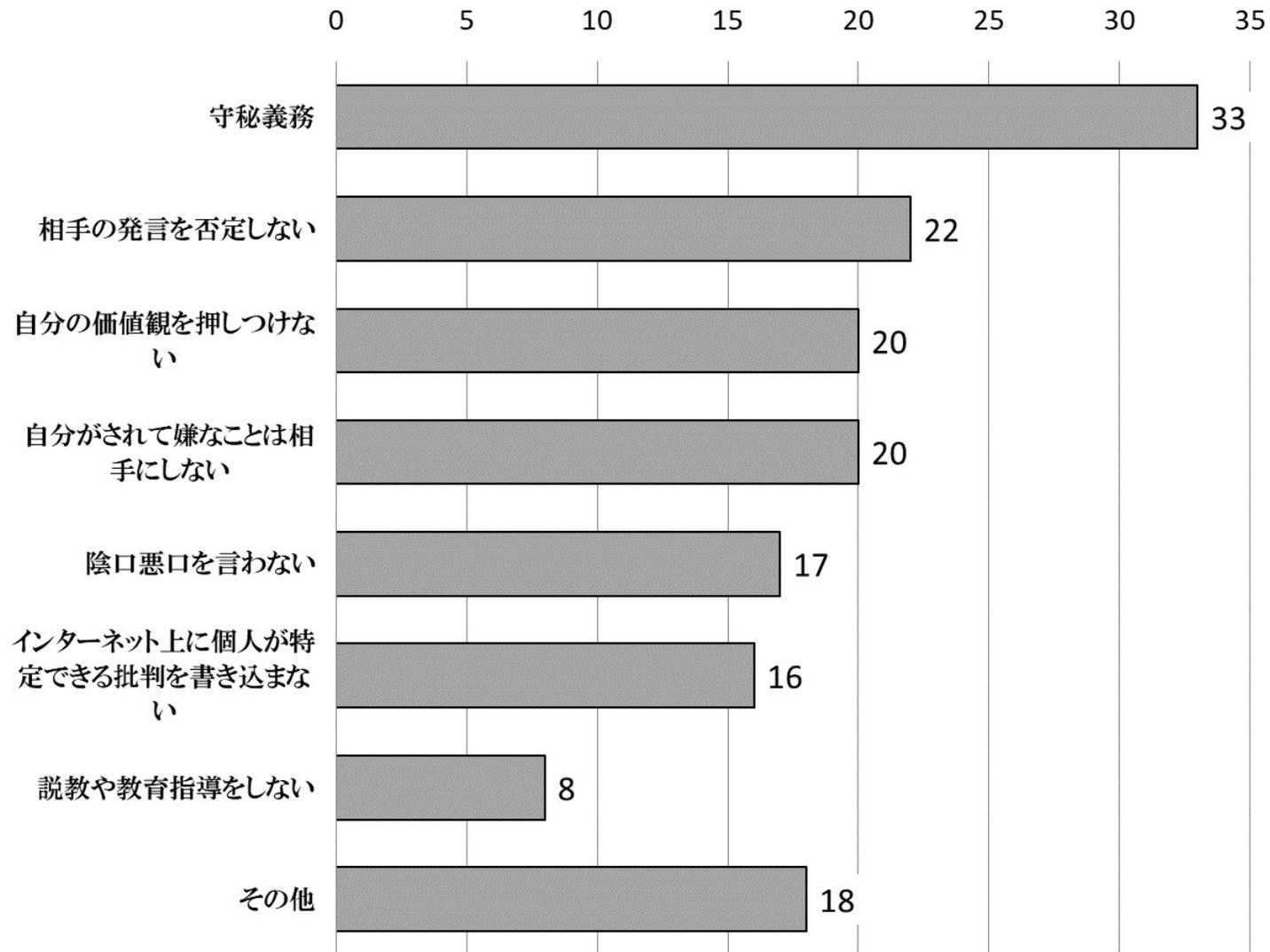
女性に配慮した運営を心掛けている：10カ所

女性だけの居場所を設置している：8カ所



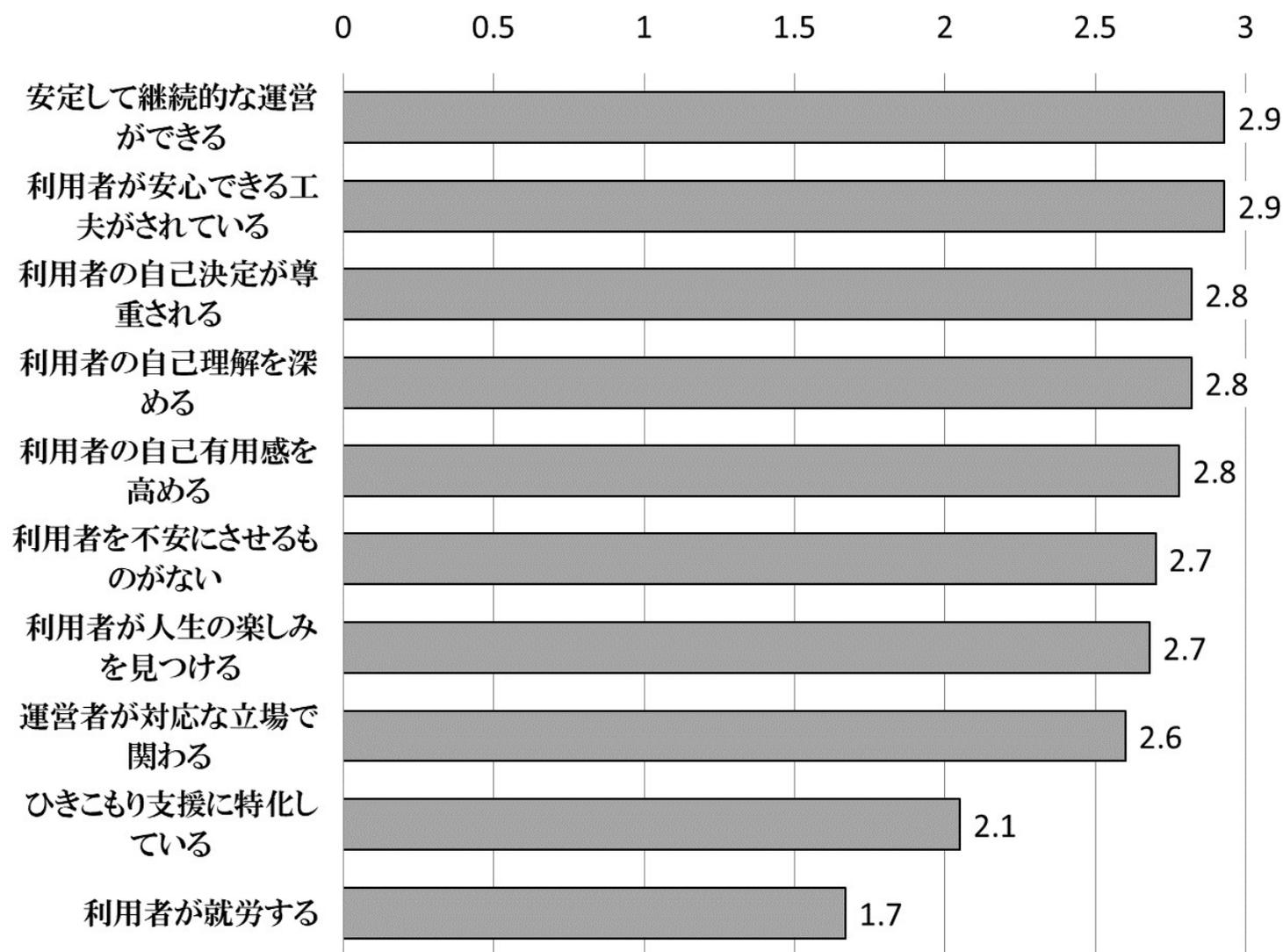
# 居場所のルール

回答数61 (複数回答)

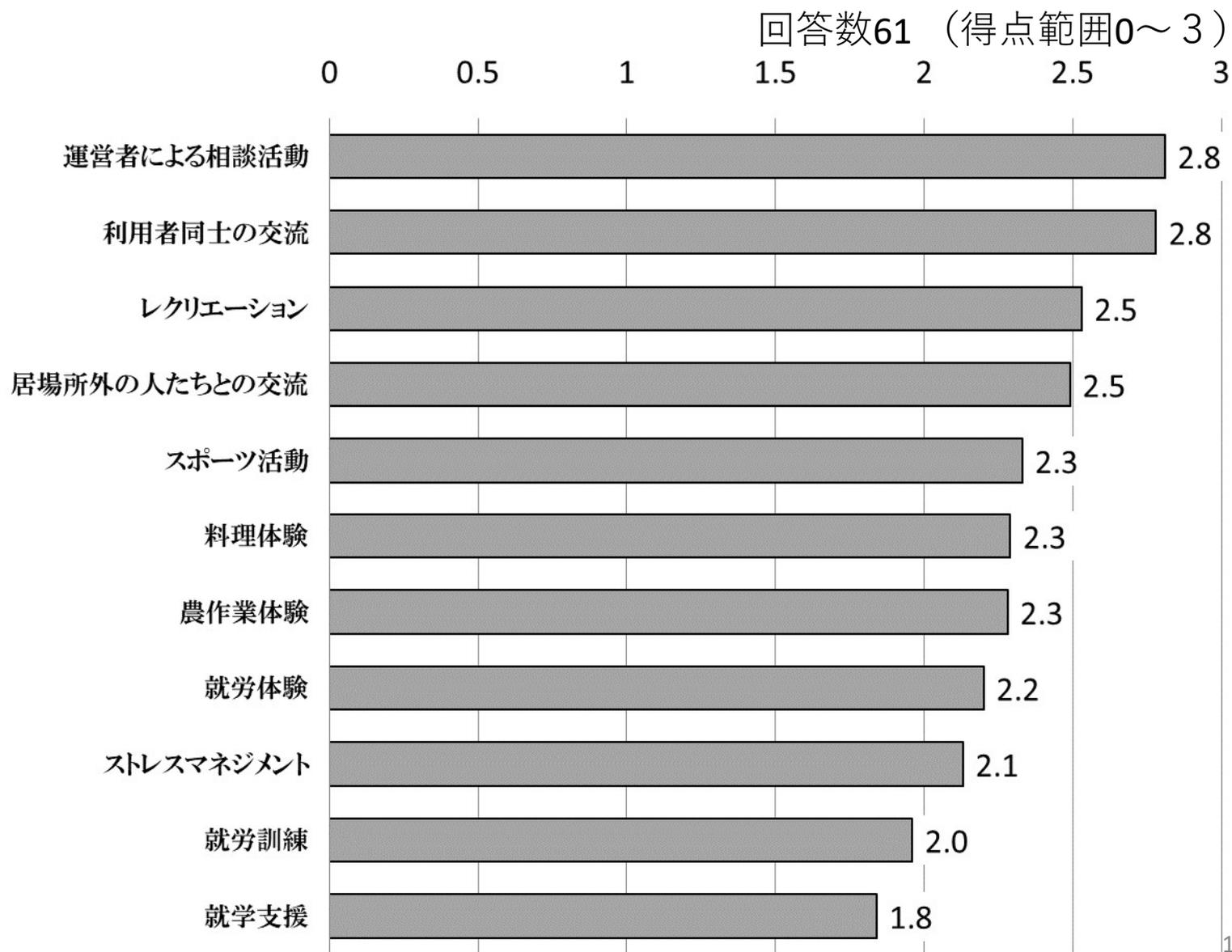


# 居場所運営において重要な点

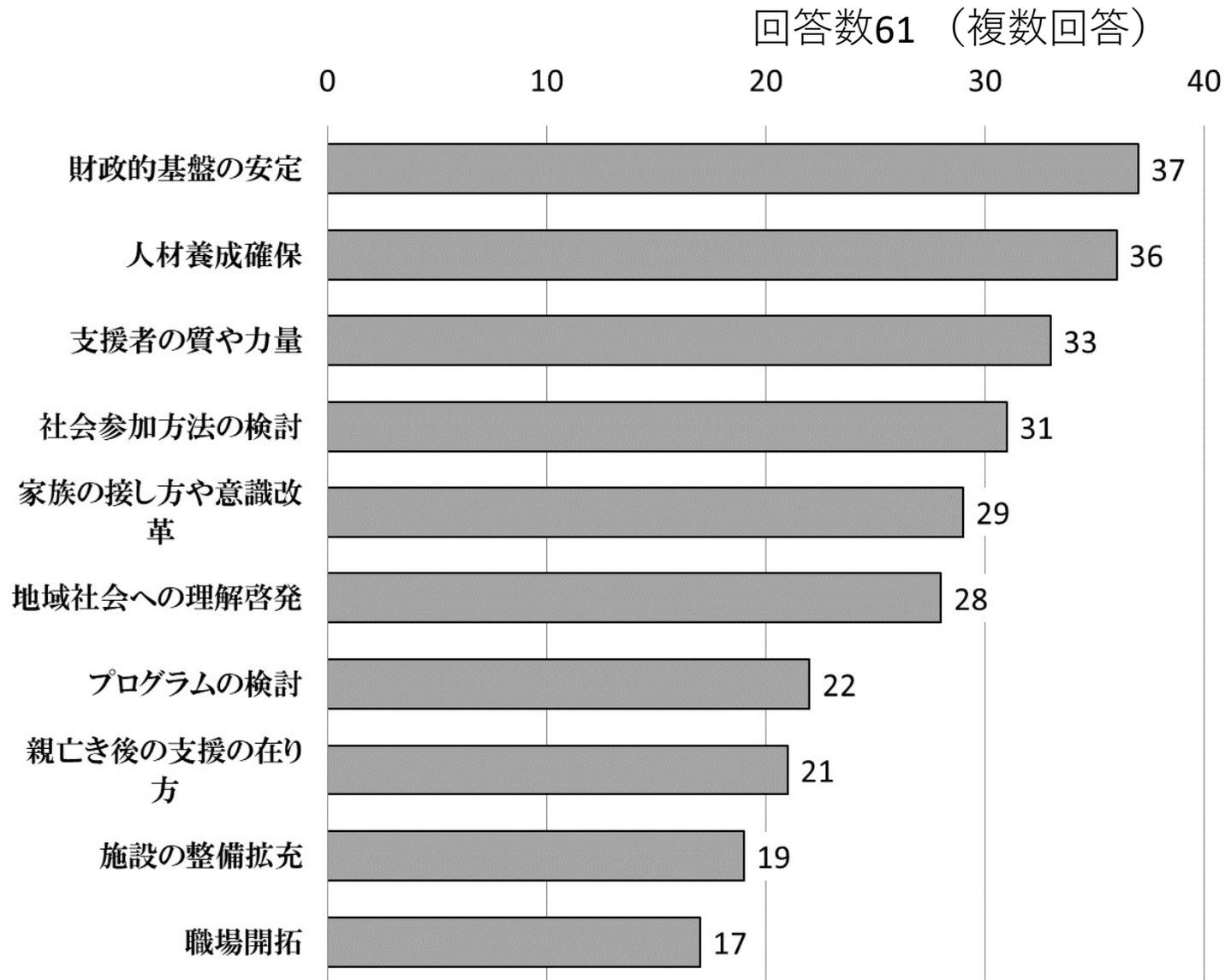
回答数61 (得点範囲0~3)



# 居場所において有効な活動



# 居場所運営における課題



# 調査 3

## 居場所利用者調査

ひきこもり地域支援センターに設置されている居場所45カ所、調査事業委員の推薦、及びウェブ調査による242カ所の利用者を対象に、令和元年12月に調査を実施し、ひきこもり経験者156名、その家族50名から回答が得られた。

# 居場所の効果に関する調査

## 本人

- 156名（平均年齢32.5歳、性別：男性102名、女性52名、その他2名）
- 現在のひきこもり状態  
あり：54名  
なし：102名

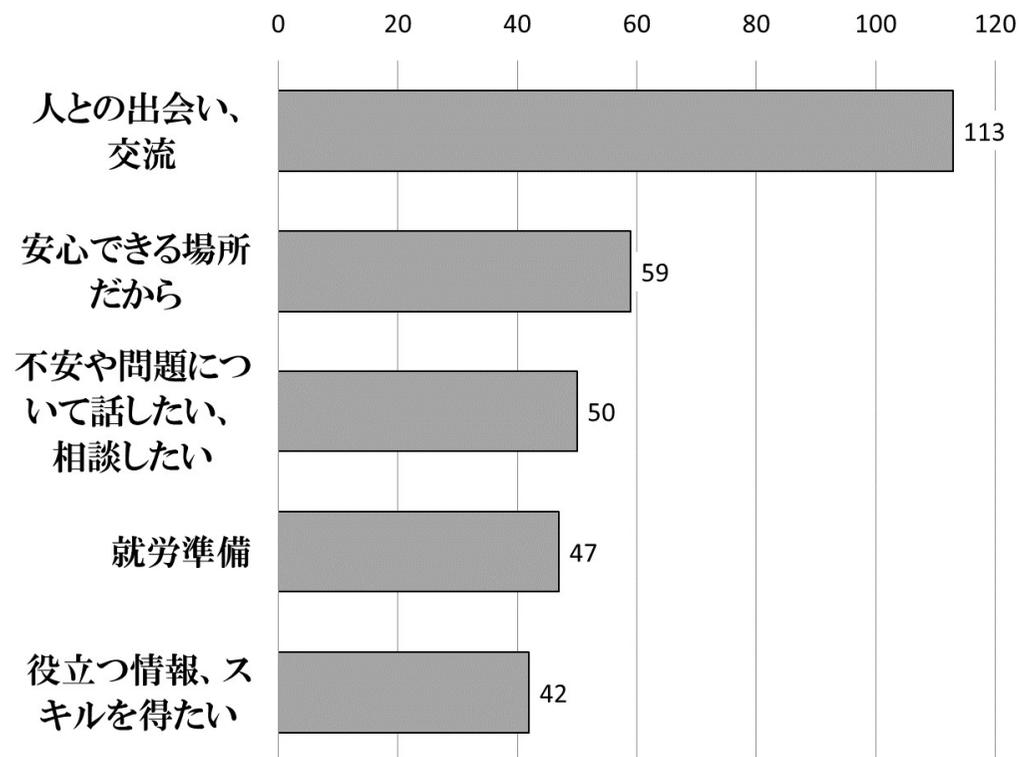
## 家族

- 50名（平均年齢：57.5歳、性別：男性13名、女性37名、その他0名）
- 現在のひきこもり状態  
あり：34名  
なし：16名

# 居場所の参加理由

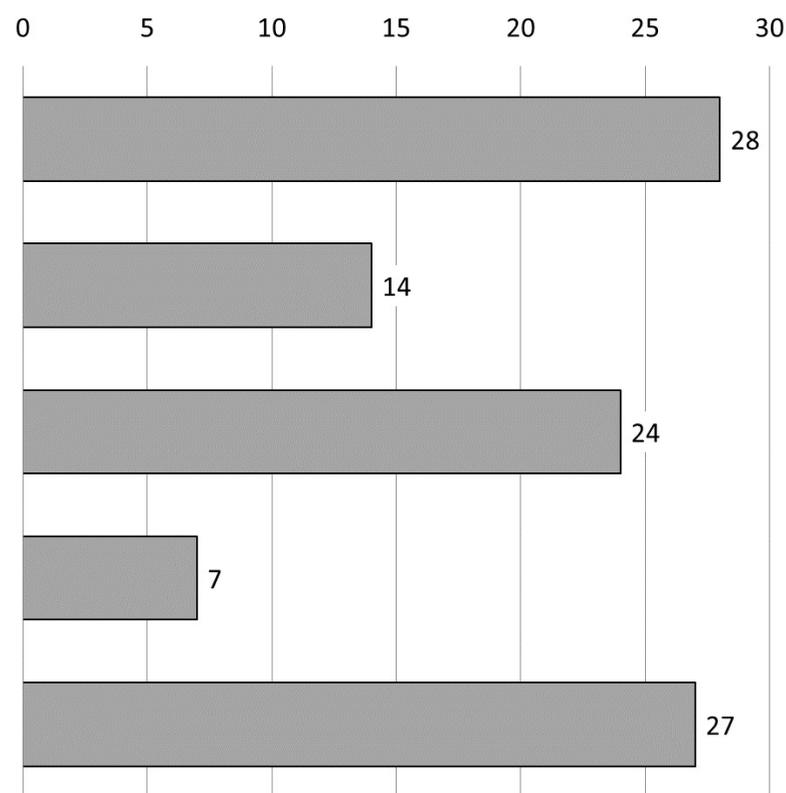
## 本人

回答数156 (複数回答)



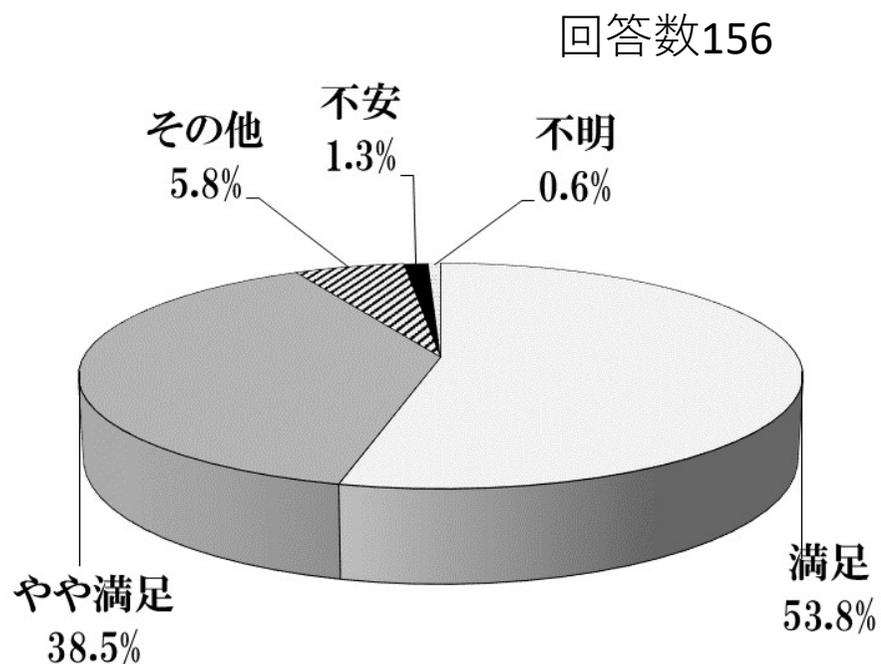
## 家族

回答数50 (複数回答)

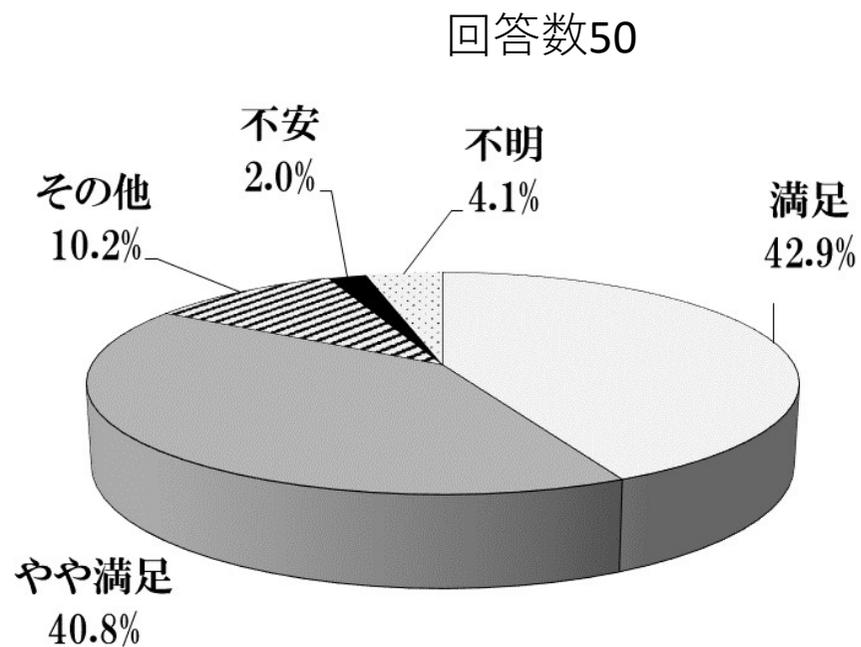


# 居場所の満足度

## 本人



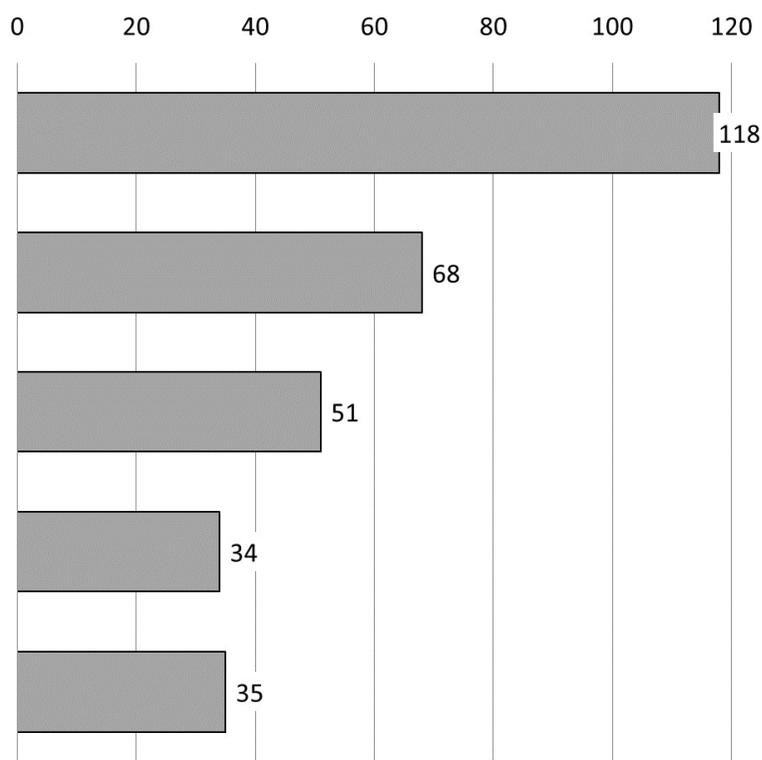
## 家族



# 居場所で満足した点

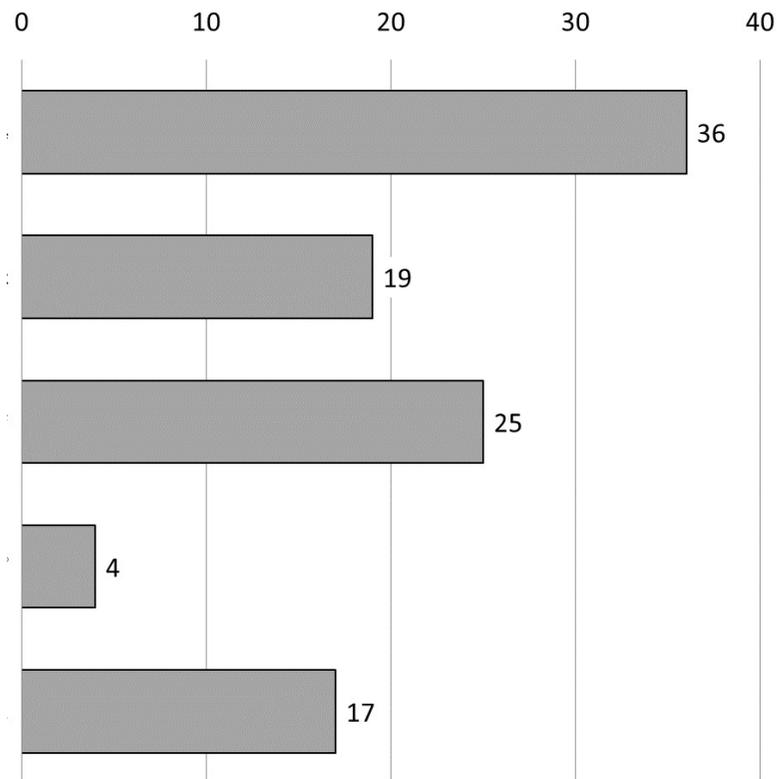
## 本人

回答数156 (複数回答)



## 家族

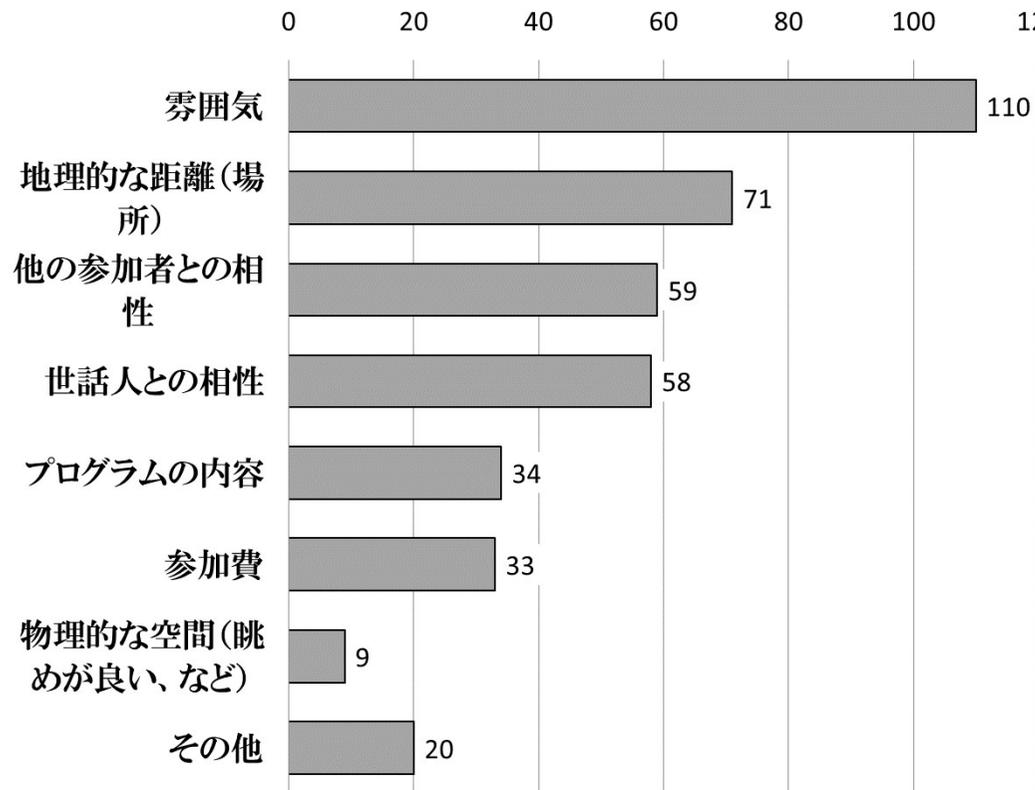
回答数50 (複数回答)



# 選ぶ上で大切にしたい点

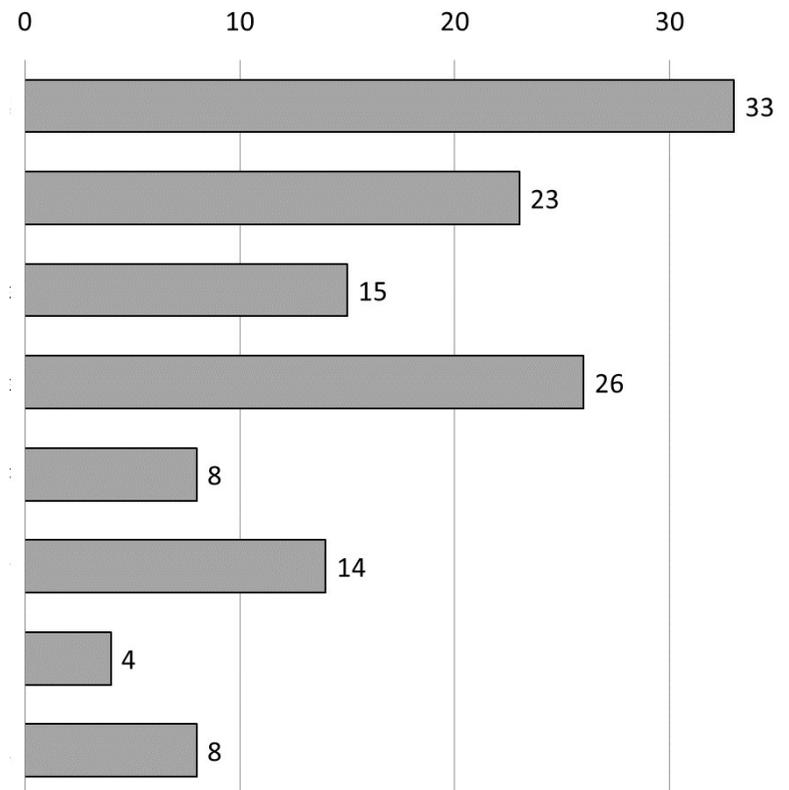
## 本人

回答数156 (複数回答)



## 家族

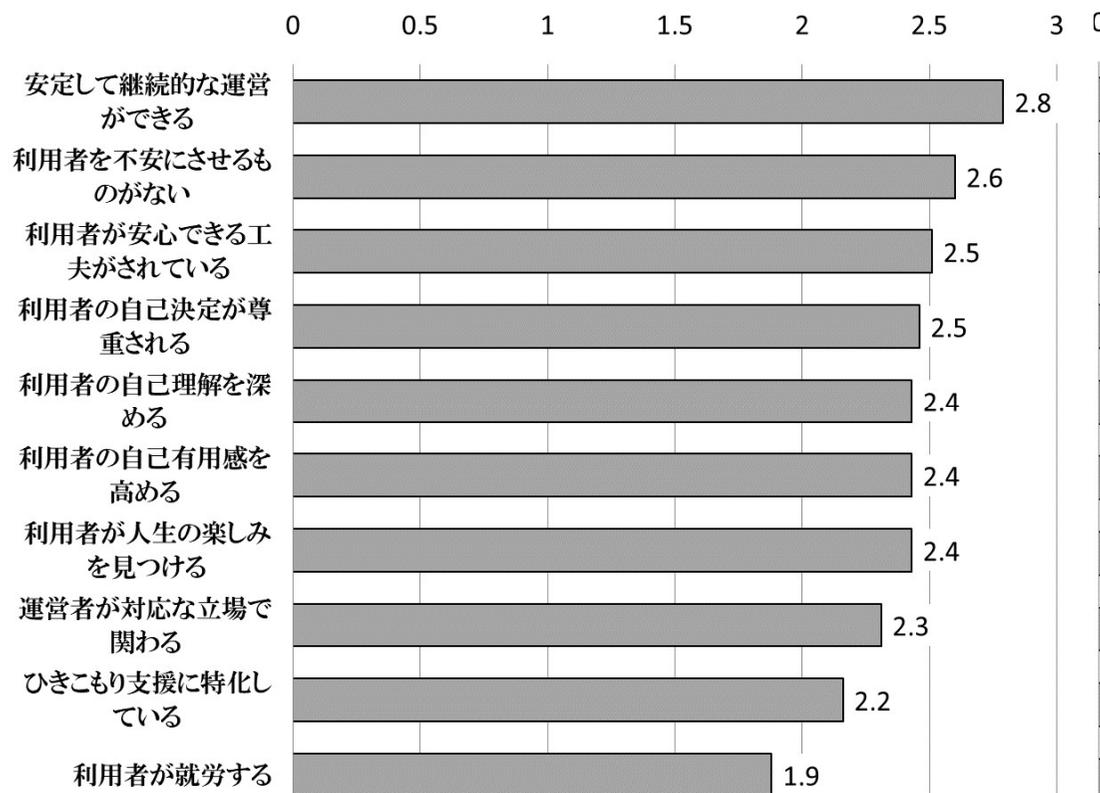
回答数50 (複数回答)



# 居場所運営において重要な点

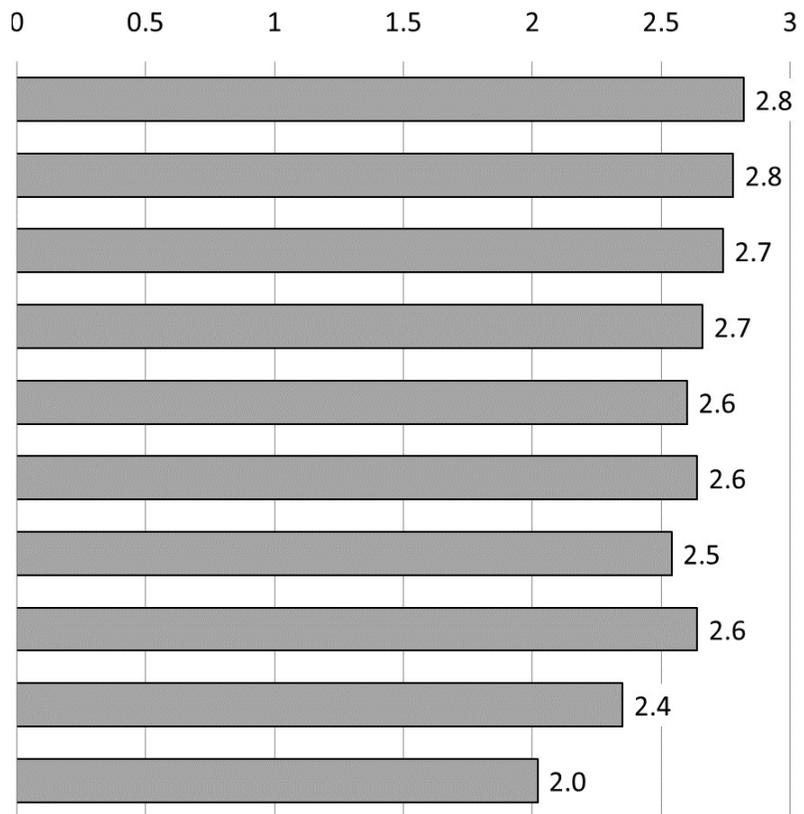
## 本人

回答数156 (得点範囲0~3)



## 家族

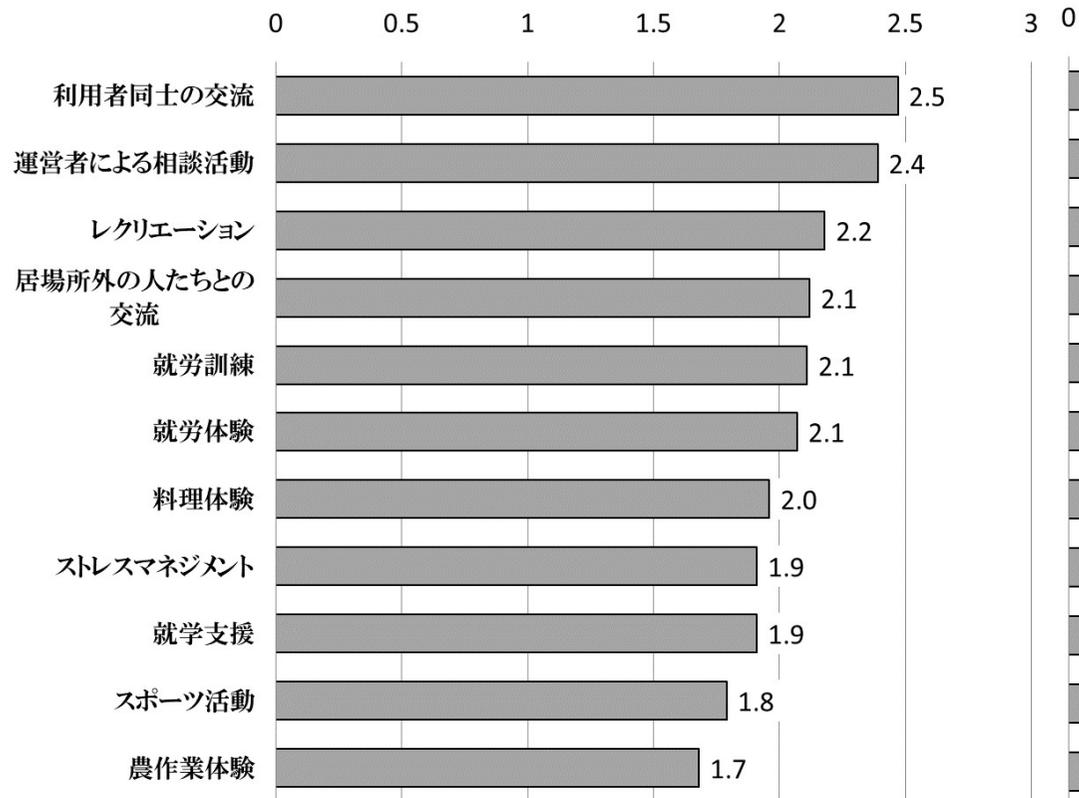
回答数50 (得点範囲0~3)



# 居場所において有効な活動

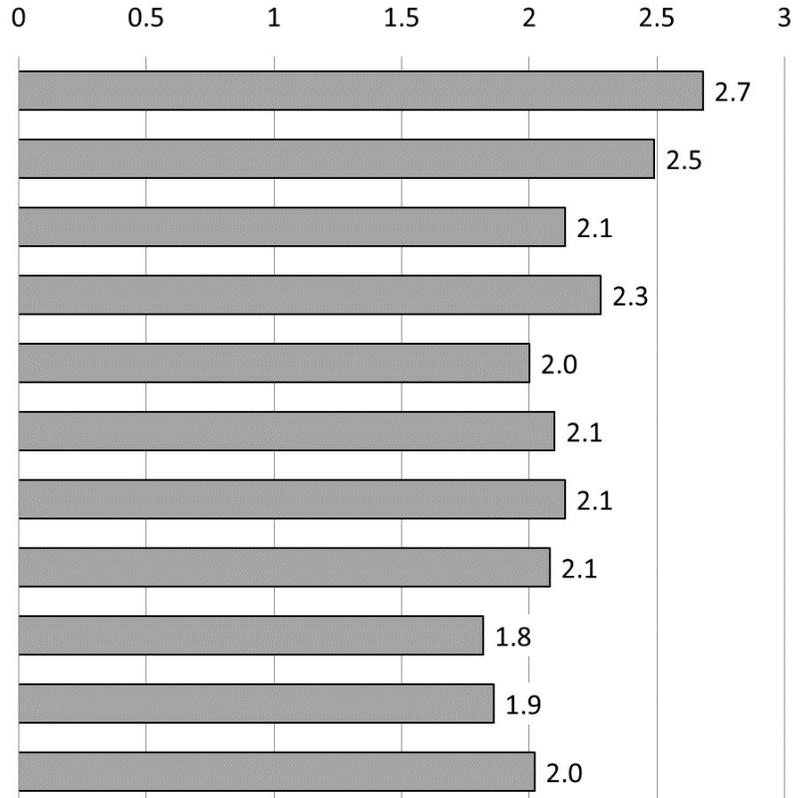
## 本人

回答数156 (得点範囲0~3)



## 家族

回答数50 (得点範囲0~3)



# 調査 4

## KHJ支部調査における 居場所に関する調査

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の支部が令和元30年12月～令和2年1月に開催した月例会において実施し、ひきこもり経験者65名（以下、本人）、ひきこもり経験者の家族230名（以下、家族）から回答が得られた。

# KHJ支部における 居場所に関する調査

## 本人

- 65名（平均年齢：35.7歳、性別：男性43名、女性18名、その他2名、不明2名）
- 現在のひきこもり状態  
あり：26名、なし：37名  
不明：2名

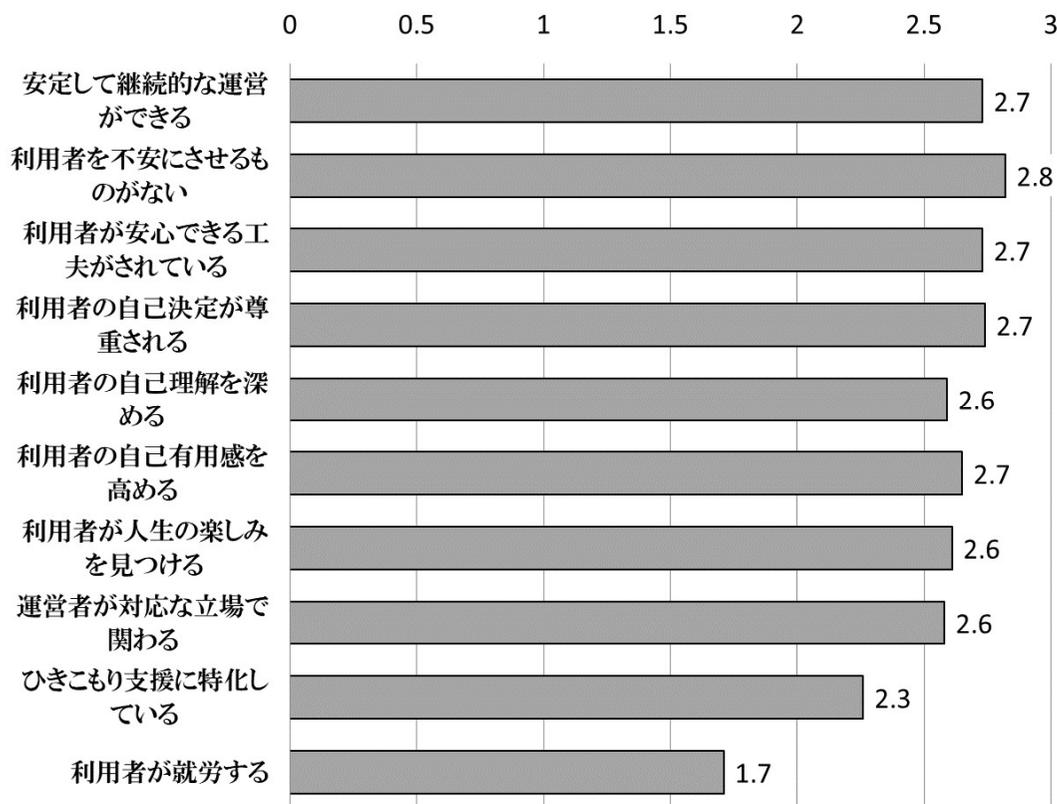
## 家族

- 230名（平均年齢：64.8歳、性別：父親55名、母親171名、その他4名）
- 本人の年齢：35.06歳
- 本人年齢本人の性別：男168名、女性62名
- 現在のひきこもり状態  
あり：177名、なし：52名  
不明：1名

# 居場所運営において重要と思う点

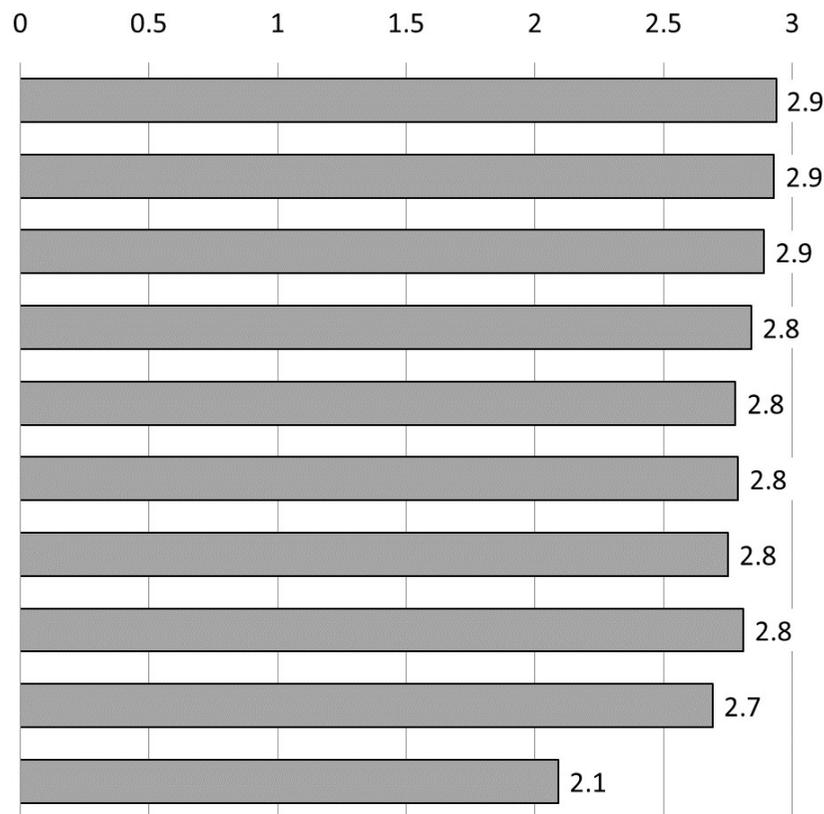
## 本人

回答数65 (得点範囲0~3)



## 家族

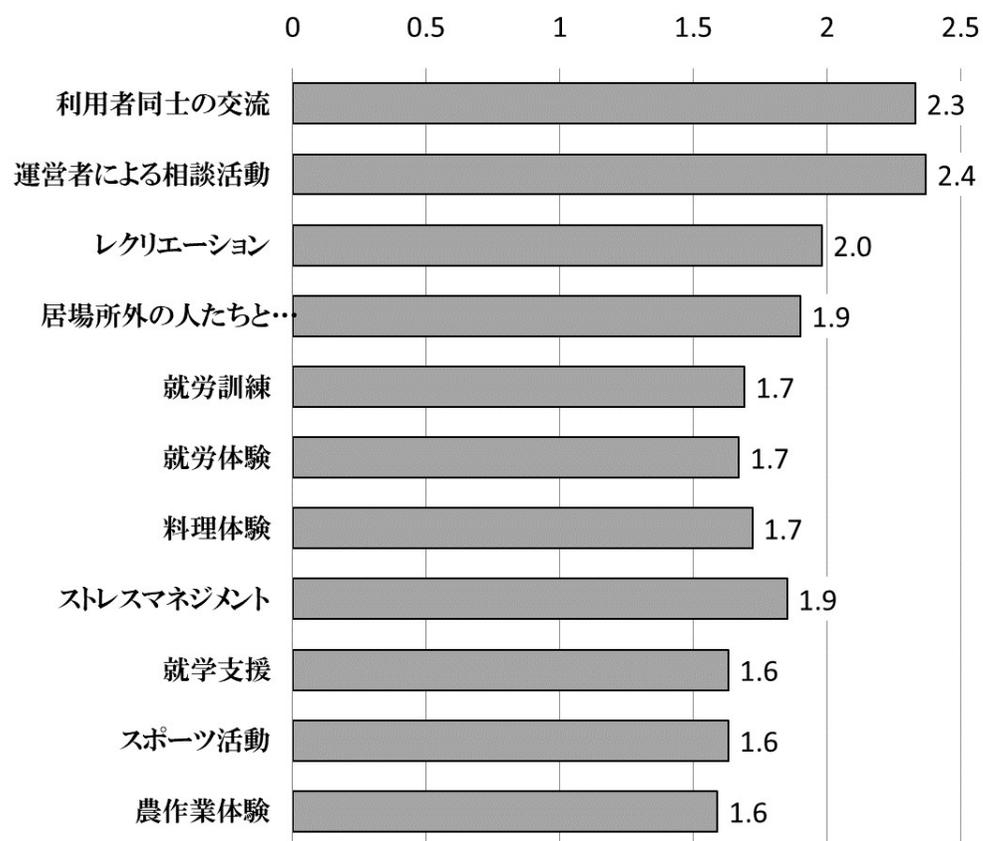
回答数230 (得点範囲0~3)



# 居場所において有効と思う活動

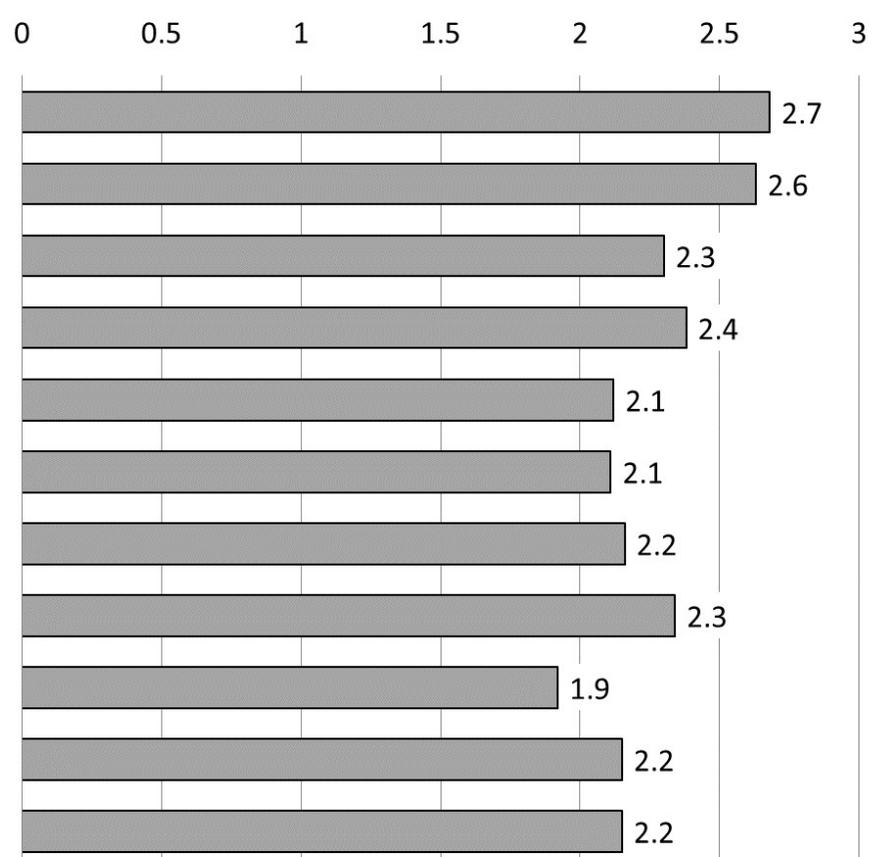
## 本人

回答数65 (得点範囲0~3)



## 家族

回答数230 (得点範囲0~3)



# まとめ

## 調査1

- 90%の行政機関がひきこもり支援を行っているが、居場所を設置している機関は18.7%と少ない。
- 設置していない機関においても設置を検討しているのは8%に留まっている。

## 調査2

- 居場所の財源の大半は助成金、補助金という不安定財源である。
- 参加制限年齢として上限39歳が残っている。
- 居場所のルールとして、守秘義務が最重視されている。
- 安定した継続的運営が重視される一方、就労支援は重視されていない。
- 運営者による相談、利用者同士の交流が有効である一方、就労訓練、就学支援の有効性は低いと感じられている。

# まとめ

## 調査 3

- 本人は人との出会いのみを求めているが、家族は問題についての相談、役立つ情報も求めている。
- 本人は参加者との交流に満足しているが、家族は問題の解消にも満足感を感じている。
- 居場所選びの際、本人は雰囲気大切にしているが、家族は世話人との相性も大切にしている。
- 安定した継続運営を重視しているが、就労は重視していない。
- 本人、家族ともに有効性を感じる活動に差はあるものの、利用者同士の交流の有効性を最も実感している点は共通している。

## 調査 4

- 本人は「不安にさせるものがない」、家族は「運営者が対等な立場で関わる」を最重視している。
- 本人、家族ともに、利用者同士の交流、運営者による相談が有効と推測している。

# 結論

- ひきこもり支援は広がっているが、居場所設置までには至っていない。
- 居場所運営において、安定した継続的運営が最も重要とされる一方で、就労支援は重視されていない。
- 居場所では、利用者同士の交流が有効である一方で、就労訓練、就学支援の有効性は低いと感じられている。
- ひきこもり本人と家族では、家族の方が多様なニーズを有している。
- 居場所を利用していない本人や家族は、利用経験者とは異なる点を重視している。